

平成26年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月14日

上場取引所 福

上場会社名 アメイズ

コード番号 6076

URL <http://www.az-hotels.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 穴見保雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 児玉幸子

TEL 097-524-3301

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第1四半期の業績(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第1四半期	2,456	—	398	—	353	—	201	—
25年11月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
26年11月期第1四半期	円 銭 26.55	円 銭 —
25年11月期第1四半期	—	—

(注)当社は、第1四半期の業績開示を平成26年11月期から行っているため、平成25年11月期第1四半期の記載及び平成26年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第1四半期	20,460	4,389	21.5	—
25年11月期	20,347	4,491	22.1	—

(参考)自己資本 26年11月期第1四半期 4,389百万円 25年11月期 4,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	—	—	40.00	40.00
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,840	9.8	387	△50.4	324	△54.4	135	△69.8	17.76
通期	10,270	10.2	1,190	△16.7	1,060	△18.0	630	△20.0	82.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期1Q	7,602,000 株	25年11月期	7,602,000 株
26年11月期1Q	99 株	25年11月期	99 株
26年11月期1Q	7,601,901 株	25年11月期1Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料1ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	1
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策（いわゆるアベノミクス）により円高の是正や株価の回復が進み、企業収益や個人消費の一部にも改善の兆しが表れましたが、日本経済全体としては、クリミア問題等による海外景気に対する不安感や輸入原材料等の価格上昇、消費税増税懸念などの国内景気の下振れ要因があり、依然として楽観できない状況が続いております。

ホテル業界におきましても、景気の回復基調や個人消費の改善により来客数は増加傾向にありますが、消費税増税が旅行客の動向に及ぼす影響や業界内の競争激化により、ホテル市況の本格改善は必ずしも容易でないものと思われまます。

当社においては、当社の新ブランドである「HOTEL AZ」として福岡田川店を新規開店し、また大浴場を有するリゾートタイプの別府店、安心院店及び粟津店を除く既存店舗の屋号も「亀の井ホテル」から「HOTEL AZ」へ変更しました。

既存店舗の業績は屋号変更による混乱もなく堅調に推移しており、特に、福岡県下の店舗は景気の回復に伴うビジネス団体客の利用が増加し好調でした。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は24億56百万円、営業利益は3億98百万円、経常利益は3億53百万円、四半期純利益は2億1百万円となりました。

なお、当第1四半期会計期間末における店舗数は、ホテル店舗が38店舗（直営店35店舗、FC3店舗）、館外飲食店舗が6店舗であります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況について

当第1四半期会計期間末の総資産は204億60百万円となり、前事業年度末に比べ1億12百万円の増加となりました。

流動資産は6億45百万円となり、前事業年度末に比べ3億24百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少3億22百万円によるものであります。

固定資産は198億14百万円となり、前事業年度末に比べ4億36百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産の増加4億19百万円によるものであります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は160億70百万円となり、前事業年度末に比べ2億14百万円の増加となりました。

流動負債は33億15百万円となり、前事業年度末に比べ3億2百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加5億円及び未払法人税等の減少2億65百万円によるものであります。

固定負債は127億55百万円となり、前事業年度末に比べ88百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少1億76百万円によるものであります。

純資産は43億89百万円となり、前事業年度末に比べ1億2百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少1億2百万円によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成26年1月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	662	339
売掛金	139	139
商品	4	4
原材料及び貯蔵品	44	41
その他	122	123
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	969	645
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,793	8,720
土地	3,614	3,614
リース資産(純額)	5,557	5,679
その他(純額)	697	1,069
有形固定資産合計	18,663	19,083
無形固定資産	157	148
投資その他の資産	557	583
固定資産合計	19,378	19,814
資産合計	20,347	20,460

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	146	137
短期借入金	800	1,300
1年内返済予定の長期借入金	669	669
リース債務	373	379
未払法人税等	381	116
賞与引当金	—	25
ポイント引当金	9	11
その他	631	675
流動負債合計	3,012	3,315
固定負債		
長期借入金	11,272	11,096
リース債務	1,306	1,395
退職給付引当金	44	47
役員退職慰労引当金	58	58
資産除去債務	134	135
その他	27	22
固定負債合計	12,844	12,755
負債合計	15,856	16,070
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,299	1,299
資本剰余金	500	500
利益剰余金	2,687	2,585
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,487	4,385
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	3
評価・換算差額等合計	3	3
純資産合計	4,491	4,389
負債純資産合計	20,347	20,460

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	2,456
売上原価	392
売上総利益	2,063
販売費及び一般管理費	1,665
営業利益	398
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	0
受取賃貸料	10
その他	0
営業外収益合計	12
営業外費用	
支払利息	56
その他	0
営業外費用合計	57
経常利益	353
特別損失	
固定資産除却損	8
特別損失合計	8
税引前四半期純利益	345
法人税、住民税及び事業税	119
法人税等調整額	24
法人税等合計	143
四半期純利益	201

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、報告セグメントがホテル宿泊事業一つであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。